

9 分科会（提案者・助言者・講評）

No	分科会名	提案者	助言者	講評
1	就学前教育 (保幼小の連携)	沖縄県立美咲特別支援学校幼稚園 和歌山市立山口幼稚園 教諭 玉城 紘子 教諭 松本 和恵	兵庫教育大学 客員准教授 小林 祐子	東洋大学文学部教育学科 教授 高野 聡子
2	高等学校における 特別支援教育	山口県立宇部西高等学校 教諭 青砥 英志 和歌山県立有田中央高等学校 教諭 森川 育美	和歌山県教育庁学校教育局 県立学校教育課特別支援教育室 指導主事 恋田 剛彰	
3	通級による指導	湖南市立三雲小学校 教諭 伊地知実紀 湖南市ことばの教室 指導員 喜多 昌子 紀の川市立中貴志小学校 教諭 木下 敦美	びわこ学院大学教育福祉学部 スポーツ教育学科 教授 小西 喜明	
4	コーディネーター	日置市立上市来小学校 教頭 紀 章子 和歌山県立みくまの支援学校 教諭 望月 信吾	京都府教育庁指導部特別支援教育課 指導主事 瀧 宏明	
5	視覚障害教育に係る 地域支援の取組	長野県立松本盲学校 教育相談専任 古瀬 英之 和歌山県立和歌山盲学校 教頭 松下 香好	和歌山県教育庁学校教育局 県立学校教育課特別支援教育室 指導主事 和田 伸敏	明星大学教育学部教育学科 教授 明官 茂
6	小・中学校における 合理的配慮	札幌市立西岡北小学校 教諭 後藤佑里香 日高川町立丹生中学校 教諭 加賀 公司	関西国際大学 教授 中尾 繁樹	
7	ICT活用	大田原市立若草中学校 教諭 塩原 亜紀 湯浅町立田柳川小学校 教頭 山下 仁之	大阪市教育委員会事務局指導部 インクルーシブ教育推進担当 指導主事 安田 加弥	
8	交流及び共同学習	大阪市立大正中央中学校 教諭 小笠原佐織 和歌山県立和歌山ろう学校 中務部主事 辻本 知都	大阪市教育委員会事務局指導部 インクルーシブ教育推進担当 指導主事 湯浅 貴弘	
9	教科別の指導① (小学校・小学部段階)	京都市立葵小学校 教諭 吉田 歩美 橋本市立三石小学校 教諭 水木 志帆	京都市教育委員会総合育成支援課 指導主事 大原摩希子	植草学園大学発達教育学部 教授 名古屋恒彦
10	教科別の指導② (中学校・中学部段階)	富山市立奥田中学校 教諭 神田 智子 串本町立串本中学校 教諭 甲山 賀代	京都府総合教育センター北部研修所 研究主事兼指導主事 前田有美子	
11	各教科等を 合わせた指導① (生活単元学習)	可児市立南帷子小学校 教諭 石井 晋一 海南市立大野小学校 教諭 山形愛加里	滋賀県総合教育センター特別支援教育係 係長 甲津 千秋	
12	各教科等を 合わせた指導② (作業学習)	愛媛大学教育学部附属特別支援学校 教諭 清水美智子 和歌山県立はまゆう支援学校 教諭 谷地 孝行 榎本 朋華・川越 真美	京都市立東山総合支援学校 校長 多田 薫	
13	自立活動	橿原市立真菅小学校 教諭 松田 祐子 田辺市立会津小学校 教諭 梅村 恭子	奈良県教育委員会事務局 特別支援教育推進室 指導主事 巽 心み	弘前大学大学院 教授 菊池 一文
14	キャリア教育	山形県立新庄養護学校 教諭 新井 勝 和歌山県立きのかわ支援学校 教諭 中畔 愛子 桑 ひとみ	奈良県教育委員会事務局 特別支援教育推進室 指導主事 宮田 実幸	
15	健康・安全教育	奥州市立水沢小学校 教諭 朝日田浩子 上富田町立生馬小学校 教諭 多屋賢太郎	和歌山県教育庁学校教育局 県立学校教育課特別支援教育室 指導主事 宮本 真吾	
16	障害者スポーツ 文化芸術活動	千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 校長 松本 蔵 長崎県立佐世保特別支援学校 教諭 貞松 涼太	長崎県立鶴南特別支援学校 校長 影本 正樹	

第60回 全日本特別支援教育研究連盟全国大会 和歌山大会

第58回 近畿特別支援教育連絡協議会 和歌山大会

第67回 和歌山県特別支援教育研究大会

第60回 全日本特別支援教育研究連盟全国大会 和歌山大会

「誌上開催」のご案内

「共生社会の中で、生涯を通じて共に学び合い育ち合う子供たち」



～主体的に生きる力をはぐくむ教育の充実を目指して～

第60回全日本特別支援教育研究連盟全国大会和歌山大会を、以下の要項にて開催いたします。  
本大会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、誌上開催となりましたが、「共生社会の中で、生涯を通じて共に学び合い育ち合う子供たち」～主体的に生きる力をはぐくむ教育の充実を目指して～を大会主題とし、皆様と共に学び合い、特別支援教育の更なる充実、発展へと研鑽を深めたいと考えております。

令和3年9月吉日

全日本特別支援教育研究連盟 理事長 明官 茂  
第60回全日本特別支援教育研究連盟全国大会和歌山大会 実行委員長 三宅 秀夫

主催

全日本特別支援教育研究連盟 近畿特別支援教育連絡協議会 和歌山県特別支援教育研究会

後援

文部科学省 厚生労働省 全国都道府県教育委員会連合会 全国国公立幼稚園・こども園長会  
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校長協会 全国特別支援学校長会  
全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会 全国特別支援学校知的障害教育校長会  
全国特別支援教育推進連盟 公益財団法人日本知的障害者福祉協会  
全国手をつなぐ育成会連合会 公益社団法人日本発達障害連盟 日本発達障害学会  
和歌山県 和歌山県教育委員会 和歌山市 和歌山市教育委員会  
和歌山県公立幼稚園・こども園長会 和歌山県連合小学校長会 和歌山県中学校長会  
和歌山県高等学校長会 和歌山県特別支援学校長会 和歌山市公立幼稚園・こども園長会  
和歌山市小学校長会 和歌山市中学校長会 公益財団法人日本教育公務員弘済会和歌山支部

# 大会開催要項(誌上開催)

1 大会主題 「共生社会の中で、生涯を通じて共に学び合い育ち合う子供たち」  
～主体的に生きる力をはぐくむ教育の充実を目指して～

2 趣 旨

これからの新しい時代に、子供たちが志をもち、自分らしく生きていくためには、これまでの教育実践を踏まえつつ、主体的・対話的で深い学びができる学習指導の工夫改善が重要である。そのためには、幼児児童生徒の発達や障害特性に応じた指導方法の在り方を考え、個の教育的ニーズに応じた学習を展開していくことが望まれる。

本県においては、特別支援教育の充実に向けた研究と実践を重ねながら、インクルーシブ教育システムの構築の推進を目指し、障害のある子どもない子ども「共に学び、共に育つ」という共生社会の形成に向けた取組を一步一步大切に進めてきた。また、一人一人の資質・能力を育むために、主体的な学びにつながる指導支援の充実に取り組んできた。

本大会では、大会主題を「共生社会の中で、生涯を通じて共に学び合い育ち合う子供たち」～主体的に生きる力をはぐくむ教育の充実を目指して～とし、特別支援教育の更なる進展と充実に寄与することを目的としている。

3 誌上講演 演題：「未来を生きる子どもたちの発達を支える」  
～共生社会を育むための多様性と調和～  
講師：神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授 鳥居 深雪 氏

4 研究発表 三木安正記念研究奨励賞受賞者  
「通常学級内での個別支援を効果的にする環境整備の在り方」  
：若手教員へのコンサルテーション」  
大阪府泉大津市教育委員会事務局教育部指導課 指導主事 田中 優子

5 諸費用 大会冊子1部 500円(送料込み)

6 大会冊子購入方法

◆申込みチケット販売アプリ「Peatix」 ※10月1日(金)より申込可  
右のQRコードからアクセスの上、お申込みください。→  
<https://zentokuren-wakayama.peatix.com>

◆FAXにてお申込みの方：下記大会事務局まで郵便番号、所属名、住所、氏名、FAX番号、  
購入部数をご連絡ください。振込先をFAXにてご連絡いたします。



**冊子申込み締切 令和3年10月22日(金)**

※販売数には限りがあります。申込多数の場合は、先着順とさせていただきます。ご了承ください。

7 ホームページ

本案内を全日本特別支援教育研究連盟のホームページにも掲載しています。  
どうぞご覧ください。

<http://zentokurenhp.world.coocan.jp>

## 大会事務局

〒640-8441 和歌山県和歌山市栄谷9 4 7 - 2 4 5 和歌山市立藤戸台小学校  
Tel 073-457-2560 Fax 073-451-0350  
Mail : zentoku-wakayama@wakayama-wky.ed.jp

事務局 和歌山市立藤戸台小学校 校長 堀本 純平

## 8 分科会(分科会名・テーマ・提案の観点)

No	分科会名	テ ー マ	提案の観点
1	就学前教育(保幼小の連携)	一人一人のニーズに応じた早期支援	○早期からの就学支援の在り方 ○保護者への支援と関係機関との連携の在り方
2	高等学校における特別支援教育の推進	高等学校における特別支援教育の推進	○合理的配慮への対応とニーズに応じた支援 ○高等学校における通級による指導
3	通級による指導	一人一人のニーズに応じた通級指導	○二次障害についての理解と対応 ○保護者、関係機関との連携の在り方
4	コーディネーター	コーディネーターによる地域支援の取組	○ともに考え学び合う地域支援活動を通して
5	視覚障害教育に係る地域支援の取組	地域ネットワークを生かした各学校等への支援の在り方	○地域や学校のニーズに応じた支援の在り方 ○視覚障害者支援ネットワーク
6	小・中学校における合理的配慮	特別な教育的ニーズのある児童生徒への合理的配慮	○合理的配慮への対応とニーズに応じた支援 ○合理的配慮を推進するための校内支援体制
7	ICT活用	ICTのよさを生かした授業作り	○ICTの効果的な活用方法 ○ICTを取り入れる利点
8	交流及び共同学習	地域の特性を生かした交流教育の取組	○地域に開かれた交流 ○地域との交流教育の成果と課題
9	教科別の指導①(小学校・小学部段階)	特別支援教育における教科別指導の在り方	○個々の児童の障害の状態等に応じた指導方法の工夫 ○一人一人の学習状況に応じた評価の在り方
10	教科別の指導②(中学校・中学部段階)	特別支援教育における教科別指導の在り方	○教科の特性を生かした一人ひとりの発達に応じた指導 ○教科指導における合理的配慮
11	各教科等を合わせた指導①(生活単元学習)	一人一人の教育的ニーズに応える生活単元学習の在り方	○自ら見通しをもって主体的に取り組める指導・支援 ○社会とのつながりを意識し、主体的に取り組める指導・支援
12	各教科等を合わせた指導②(作業学習)	自立と社会参加に向けた作業学習	○卒業後の生活につながるコミュニケーション力向上のための支援の在り方 ○教科学習の学びを活用するための指導の工夫
13	自立活動	一人一人の障害による困難の改善・克服をめざした自立活動の在り方	○障害特性に応じた指導計画の作成 ○課題意識と意欲的改善につながる指導の工夫
14	キャリア教育	小中高等部の系統性を踏まえた指導内容づくり	○各学部段階において育てたい力 ○自立と社会参加を高める指導
15	健康・安全教育	命を大切にできる力を育む指導の在り方	○健やかな心と身体を育む教育の工夫 ○障害特性に応じた防災・安全教育
16	障害者スポーツ・文化芸術活動	生涯にわたる豊かな生活の実現につながる取組	○生活を豊かにする障害者スポーツの在り方 ○生活を豊かにする文化芸術活動の在り方